




様式4 (第2条関係)

博士 (口腔科学) 学位論文内容要旨




受付番号	第 号*	氏 名	川西 順子
博士 (口腔科学) 学位論文の題名	健常成人における口腔筋機能療法のポッピング訓練による口腔機能改善に関する評価		
<p>要旨【目的】 口腔筋機能療法 (以下, MFT) において舌を挙上させて舌背辺縁を口蓋周囲に密着させながら口を開け, ポンと音をたてるというポッピング訓練があるが, ポッピング訓練実施による舌圧の増加やそれに関連する口腔機能の改善についての有効性については明らかにされていない. 本研究では, 健常成人においてポッピング訓練と舌の口蓋への押し付け訓練による舌圧の増加等の口腔機能改善についての有効性を評価した. また, 口腔状態について質問票により主観的回答を求めた.</p> <p>【方法】 健常成人 24 名をポッピング訓練群と舌の口蓋への押し付け訓練群に無作為に振り分けた. 30 回/1 日, 週 5 回×4 週間の訓練を行った. 口腔湿潤度, 舌圧, 咀嚼能力, オーラルディアドコキネシス (以下, ODK) /pa/, /ta/, /ka/について評価した. また, 口腔状態について質問票により主観的な回答を求めた.</p> <p>【結果】 舌圧, 咀嚼能力, ODK /pa/, /ta/, /ka/で両群共に訓練前後で有意な差がみられた ($p < 0.05$). 訓練前後の変化量の比較では, 両群に有意な差はみられなかった. 主観的回答において, 訓練後に舌の口蓋への接触範囲増加がみられた割合は, A 群: 83.3%, B 群: 66.7%であった.</p> <p>【結論】 MFT 訓練のひとつであるポッピング訓練は, 舌の口蓋への押し付け訓練と同じく舌圧の増加のみならず, 咀嚼能力および ODK の改善にも繋がることが示唆された.</p> <p>Key words : 口腔筋機能療法 (MFT), ポッピング訓練, 舌圧増加, 咀嚼能力, オーラルディアドコキネシス (ODK)</p>			

※欄には記入しないでください。

博士(口腔科学)学位論文審査結果の要旨及び調査委員の氏名

受付番号	甲 第 3 号	氏 名	川西 順子
主 査 元根正晴 		副 査 濱島淑恵  副 査 本田 尚隆 	
<p>健常成人における口腔筋機能療法のポッピング 訓練による口腔機能改善に関する評価</p> <p>要旨【目的】口腔筋機能療法（以下，MFT）において舌を挙上させて舌背辺縁を口蓋周囲に密着させながら口を開け，ポンと音をたてるというポッピング訓練があるが，ポッピング訓練実施による最大舌圧の増加やそれに関連する口腔機能の改善についての有効性については明らかにされていない．本研究では，健常成人においてポッピング訓練と舌の口蓋への押し付け訓練による最大舌圧の増加，また口腔機能の改善についての有効性と効果を検討した．</p> <p>【方法】健常成人 24 人をポッピング訓練群と舌の口蓋への押し付け訓練群に無作為に振り分けた．30 回/1 日，週 5 回×4 週間の訓練を行った．訓練前・後に，舌背湿潤度，最大舌圧，咀嚼能力，オーラルディアドコキネシス（以下，ODK）/pa/，/ta/，/ka/について評価した．</p> <p>【結果】最大舌圧，咀嚼能力，ODK /pa/，/ta/，/ka/で両群共に訓練前・後で有意な差がみられた（$p < 0.05$）．訓練前・後の変化量の比較では，両群に有意な差はみられなかった．</p> <p>【結論】MFT 訓練のひとつであるポッピング訓練は，舌の口蓋への押し付け訓練と同じく最大舌圧の増加のみならず，咀嚼能力および ODK の向上にも繋がること示唆された．</p>			

最終試験結果の要旨及び博士(口腔科学)学位授与審査調査委員の氏名

受付番号	甲 第 3 号	氏 名	川西 順子
主 査	元根 正晴 	副 査	濱島 淑恵 
		副 査	茅田 為隆 
(最終試験結果の要旨)			
大学院医療保健学研究科(博士(口腔科学)学位授与調査会調査委員)の行った試験に合格した。			